第31回
日本医学会総会
2023 東京

ビッグデータが拓く未来の医学と医療
～豊かな人生100年時代を求めて～

事前参加登録者特典

1. 産業医セッション事前申込　（受付中：3月31日正午まで）
2. 共通講習事前申込　（受付中：3月31日正午まで）
3. ランチョンセミナー事前申込　（3月1日より受付開始）
4. 4月20日開催 開会記念 特別講演会 事前申込　（3月1日より受付開始）

申込は先着順となります。定員に達し次第、受付終了となりますので、予めご了承ください。詳細はWEBサイトよりご覧ください。

会 期

〔学術集会〕2023年4月21日（金）～23日（日）
〔学術展示〕2023年4月20日（木）～23日（日）
〔博 覧 会〕2023年4月15日（土）～23日（日）

会 場

東京国際フォーラム
および 丸の内・有楽町エリア

会 頭

春日 雅人　朝日生命成人病研究所 所長
国立国際医療研究センター 名誉理事長

開催形式

現地開催＋WEB開催
（LIVE配信およびオンデマンド配信）

開催形式について

第31回日本医学会総会は、現地開催に加え、WEB開催（LIVE配信およびオンデマンド配信）を組み合わせたハイブリッド開催で準備を進めております。

■参加方法および参加登録費について

- 現地参加の場合は、WEB参加も可能です。また、現地参加が叶わぬ場合には、WEBのみでもご参加いただけます。
- 大学院生およびメディカルスタッフで"WEB参加のみ"にてご登録いただいた場合は、現地参加いただけません。

■視聴可能プログラムについて

LIVE配信：現地開催と同時刻に、現地で開催中のプログラムを生中継します。
オンデマンド配信：現地開催終了後に、現地で収録したプログラムを録画放送します。
オンデマンド配信は、お好きな時間に、何度でも視聴可能です。
（オンデマンド配信期間は2023年5月～7月頃を予定しています）

LIVE配信およびオンデマンド配信については、WEBサイトにてご案内いたします。

事前参加登録は
こちらから

https://isoukai2023.jp/

医総会2023

［事務局］〒113-8655東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院中央診療棟2（8F）
TEL｜03-5800-8971　FAX｜03-5800-6412
E-mail｜office@isoukai2023.jp

参加登録料

参加登録費／期間

参加登録区分	参加方法	事前参加登録 2022/12/1 ~2023/4/7	当日参加登録 2023/4/21 ~2023/4/23
医師・歯科医師・研究者	現地+WEB参加	30,000円	35,000円
Over75 (医師・歯科医師・研究者) ＊2023/4/21時点に満75歳以上	現地+WEB参加	20,000円	25,000円
Under40 (医師・歯科医師・研究者) ＊2023/4/21時点に満40歳未満	現地+WEB参加	20,000円	25,000円
医療情報担当者(行政・企業)	現地+WEB参加	30,000円	35,000円
大学院生(医師・歯科医師) もしくは卒後5年までの 医師・歯科医師	現地+WEB参加	10,000円	15,000円
	WEB参加のみ	7,000円	10,000円
メディカルスタッフ (看護師・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・その他) 病院事務・管理関係者・その他医療従事者	現地+WEB参加	5,000円	8,000円
	WEB参加のみ	3,000円	6,000円
大学院生 (医師・歯科医師を除く)	現地+WEB参加	2,000円	3,000円
	WEB参加のみ	1,000円	2,000円
学部学生(※2)	現地+WEB参加	無　料	無　料

割引プラン

※1 団体登録割引：11名の登録につき1名無料となります。
詳しくは下記の「団体登録割引のご案内」をご覧ください。

団体登録割引のご案内

- 同一区分での11名ご登録につき、1名無料となります。団体登録割引を適用するためには、**11名以上で同時に登録してください。**
  (例：15名登録で1名無料、22名登録で2名無料となります。)
- **異なる参加登録区分や料金が混在した団体登録はできません。**
- **代表者の方がまとめて登録してください。**登録の際には全参加者の氏名とE-mailアドレスの登録が必要となります。なお、参加登録費のお支払い後でも、氏名やメールアドレスの変更は可能です。
- 団体登録完了後は、登録者個別に、参加登録システムログインIDとパスワードを発行しますので、以後は各人で個人詳細情報の入力やセッションの登録等を行っていただけます。
- その他、ご不明な点等ございましたら、事務局までご相談下さい。

※2 学部学生もWEBからの事前参加登録が必要となります。
看護学部等、医学部以外の医療系学生も参加可能です。
※3 同伴者(医療従事者以外の家族)の登録はございません。

キャンセルポリシー

- 参加登録をキャンセルされた場合でも、参加登録料は返金いたしません。
  二重登録の場合でも返金できませんので、ご注意ください。
- お支払期限までに入金が確認できない場合は、ご登録をキャンセルさせていただきます。
- 住所やご所属先の変更等、ご登録された内容に変更がある場合は、登録デスク宛にメールまたはFAXにてご連絡ください。
  お電話による変更は受付いたしかねます。

参加登録の流れ

推奨 WEB申込

https://isoukai2023.jp/よりお申し込みください。

- **クレジットカード**：オンライン決済完了
- **コンビニ支払**：仮登録完了メールに記載の方法にて登録料をお支払いください。→ 決済システムにてコンビニ支払自動確認
- **銀行振込**：仮登録完了メールに記載の口座に登録料をお振込みください。→ **入金確認**
  ※入金確認作業に1週間ほど要しますので、あらかじめご了承ください。

登録完了

登録完了メールが届きます。
- **QRコードの発行**
  参加証を発行するため、当日は会場にQRコードをご持参ください。
- **単位受講申込専用サイトのお知らせ**
  産業医／健康スポーツ医研修単位の受講申込は、このシステムから登録してください。
- **マイページから領収書のダウンロードが可能です。**

産業医／健康スポーツ医研修単位受講申込の流れ

事前参加登録完了後にご登録のメールアドレスに登録完了メールが送信されます。単位取得をご希望の方はメール内に記載の単位受講申込専用サイト(マイページ)より、受講申込ができます。

マイページよりログイン
↓
単位受講申込専用サイトより登録
↓
単位受講申込料支払い ※クレジットのみ
↓
登録完了
登録完了メールが届きます。
マイページから領収書のダウンロードができます。

会場にて参加証を発行するため、マイページよりQRコードが明記された参加登録証をダウンロードのうえ、会場にご持参ください。

FAX申込

※FAX申込の方は、産業医／健康スポーツ医研修単位や共催セミナーへの事前参加登録は行えません。

銀行振込
返信された仮登録完了FAXに記載の口座に登録料をお振込みください。
↓
入金確認
※入金確認作業に1週間ほど要しますので、あらかじめご了承ください。
↓
登録完了
登録完了通知と領収書を1ヶ月以内に郵送します。

2023年4月上旬頃
参加登録証が郵送されます。
お手元に届いたQRコードが明記された参加登録証をご持参ください。

会期当日(会場にて引換)
● 参加証　● 事前予約済プログラムの整理券　● コングレスバッグ引換券(ポケットプログラム含む)

※FAX申込の方は、産業医／健康スポーツ医研修単位や共催セミナーへの参加登録は行えません。
※参加証を発行するためのQRコードは、2023年3月上旬頃にマイページからダウンロード可能です。
また、FAX申込の方は、参加登録証(QRコード付き)を2023年3月上旬頃から順次発送させていただきます。

学術講演　プログラム案

特別講演

春日　雅人　（第31回日本医学会総会 会頭）
松本　吉郎　（日本医師会長）
門田　守人　（日本医学会長）
中村　祐輔　（医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長）
浅川 智恵子　（日本科学未来館 館長）
大隅　良典　（東京工業大学 栄誉教授）
尾身　茂　（結核予防会 代表理事）
津田　雄一　（JAXA 教授）
山中　伸弥　（京都大学iPS細胞研究所 名誉所長・教授）
Carl-Henrik Heldin　（ノーベル財団 理事長）
堀　憲郎　（日本歯科医師会長）
井上　惠司　（東京都歯科医師会長）
住友　雅人　（日本歯科医学会長）
福井 トシ子　（日本看護協会長）
山本　信夫　（日本薬剤師会長）
武田　泰生　（日本病院薬剤師会長）

会頭特別企画

- ビッグデータがどのように医療・医学を変えるか
- COVID-19に世界はどう対応したのか？どう対応するのか？
- COVID-19に日本はどう対応したのか？どう対応するのか？
- ヒトがん生物学が教えてくれるもの —次世代がん治療戦略の構築に向けて—
- 2024年の医師の働き方改革元年を翌年に控えて—課題と展望
- 2040年を見据えた地域医療構想—我が国の医療供給体制の課題と未来への提言
- 医療と臨床研究における患者・市民参画（PPI）
- COVID-19 ダイジェストセッション

柱1. ビッグデータがもたらす医学・医療の変革

- リアルワールドデータを用いた臨床研究・疫学研究
- AIが変える医学研究
- シングルセルレベルで身体・病態を理解する
- 顕微鏡ビッグデータは医学に何をもたらすか？
- ビッグデータとAIを活用したQOLの向上と健康寿命の延伸
- ゲノム医療がもたらす未来

柱2. 革新的医療技術の最前線

- 人工組織・オルガノイド・細胞エンジニアリングの医療応用
- 臓器代替技術の現状と新展開
- 分子標的治療の現状と未来
- がんの抗体・免疫細胞治療
- 脳情報の解読に基づく脳神経疾患の治療戦略
- 免疫学が変えた医療
- 多臓器間ネットワークの理解に基づく医療応用
- 生体膜バイオロジーの医学・医療への応用
- トランスポーター創薬 ～生理機能から治療へ～
- 腸内細菌から見た新たな健康と医療
- 生殖機能障害と不妊症・不育症治療の現在と未来
- 難病に対する遺伝子治療の推進
- 工学的センシング技術を駆使した新たなバイオマーカーの開発
- 未来の手術機具・医療機器・ロボティクスデザイン
- 遠隔診断・モニタリングの実現に向けた医工連携技術
- liquid biopsyがもたらす可能性と課題

柱3. 人生100年時代に向けた医学と医療

- 老化の本態解明と健康長寿
- 認知症診療の現状と展望
  ～アルツハイマー病の疾患修飾療法が現実味を帯びてきた中で～
- 高齢者医療における領域横断的なフレイル・ロコモ対策
- 少子化と子どもの健康－社会医学・看護系の視点から
- 小児期から成人期へ切れ目ない医療連携～トランジション診療について～
- 超高齢社会における生活習慣病のprecision medicine
  —ゲノム医療などの観点から—
- 超高齢社会における生活習慣病対策－歯科の立場から
- 行動変容による疾病の予防と健康寿命の延伸 —改めて国民の心を動かすためには—
- 在宅医療・介護の制度改革およびテクノロジーの活用
  —より良い地域包括ケアシステムに向けて
- 終末期医療の諸課題と各職種の役割
- 健康長寿に関わるエビデンスの構築と医療政策への応用
- 人生100年時代の社会情勢の変化と労働環境の変容に対応した産業保健の変革

柱4. 持続可能な新しい医療システムと人材育成

- 持続可能な開発目標（SDGs）とグローバル・ヘルス
- 医療人の働き方に関わる諸課題とその対策
- 医療人の教育の現状と今後の在り方
- 医療・介護の経済・財政的課題の改善に向けて
- 医工連携・融合に向けた教育改革・環境整備
- 今日の臨床・研究におけるELSI（Ethical, Legal and Social Issues）
- 安全への先行的アプローチ

柱5. パンデミック・大災害に対抗するイノベーション立国による挑戦

- 社会的システムとしての救急・災害医療—レジリエンスを高めるシステムの検討
- ポストコロナの保健医療システムの在り方
- パンデミック感染症や災害に対する医学・医療環境の構築
- 感染症予防の究極的手段としての予防接種
- 社会からの隔絶「ソーシャルディスタンス」の医学
- COVID19をめぐるコミュニケーションの諸相

ダイバーシティ推進委員会・U40委員会企画

- 男性医師の育児休業の在り方～男性医師は取得すべき？
- 各大学・地域におけるダイバーシティの取り組み
- 各学会におけるダイバーシティの取り組み
- 日本学術会議の提言から、将来に向けた医学研究評価のあり方について考える
- デジタルヘルスケア（主に治療アプリ）が健康にもたらす役割
- それぞれの最前線でCOVID-19と戦った先生方に聞く、次世代の医学研究に向けて

他多数

取得可能単位について

単位の取得については以下の通りです。詳しくはWEBサイトの"取得可能な単位について"でご案内しております。

単　位	現地参加	サテライト会場 ※1	WEB参加		単　位	現地参加	サテライト会場 ※1	WEB参加	
			LIVE配信	オンデマンド配信				LIVE配信	オンデマンド配信
日本医学会分科会 研修単位（93学会） 例:日本内科学会、日本外科学会、等	○	○	○※2	○※2	日本医師会生涯教育制度 学習単位	○	○	○	×
日本医師会認定産業医制度 産業医学生涯研修単位	○	○	×	×	日本専門医機構専門医 共通講習 （感染対策、医療安全、医療倫理）	○	－	×	×
日本医師会認定健康スポーツ医制度 健康スポーツ医学 再研修単位	○	－	×	×	協力機関 例:日本歯科医師会、日本看護協会、日本薬剤師研修センター等	○	○	○	○
日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修単位	○	○	○	○					

※1 全国各地に視聴会場を設けて、指定された会場で該当プログラムを視聴した場合は単位取得が可能となります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。
※2 一部の分科会においては、WEB参加による単位について、該当する単位はございません。

産業医研修単位の申し込みについて

産業医セッションの参加方法について

産業医セッションの事前登録には、あらかじめ第31回日本医学会総会の参加登録が必要となります。

受講費用について

産業医セッションの受講は有料となります。※柱3-9のみ無料

産業医セッションの受講料は、受講セッション数に関わらず5,000円となります。

お支払いはクレジット決済のみとさせていただきます。

受講申込について

産業医研修単位の単位受講申し込みは、第31回日本医学会総会への事前参加登録の入金を確認した後にメールでお知らせする「マイページ」よりご登録ください。

マイページ内にある「単位受講申込」ボタンより、ご希望のセッションを選択してください。

お申込み後でも、2023年3月31日（金）正午までは登録セッションの変更が可能ですが、セッションをキャンセルする場合は、受講料の返金はできませんのでご注意ください。

サテライト会場の設置について

本総会では、日本医師会認定産業医制度 産業医学研修会（産業医セッション）について、現地参加に加え、日本医学会総会では初めて全国にサテライト会場を設置することとなりました。

- サテライト会場での参加の場合でも、第31回日本医学会総会への参加登録が必要です。
- 現地会場での参加以外に、各都道府県（一部を除く）に設けられるサテライト会場での参加が可能です。サテライト会場で参加可能なセッションは、“更新”と“専門”の一部セッションのみとなります。
- 会場および対象セッションの詳細については、WEBサイトをご覧ください。
- “実地”は現地開催会場でのみ参加いただけます。
- 産業医セッションの受講料は、受講セッション数に関わらず5,000円となります。
  お支払いはクレジット決済のみとさせていただきます。
- 取得（受講）可能なセッションは、現地/サテライト合わせて6単位となります。

産業医セッションの申込状況はこちらからご確認いただけます。

定員に達し次第、受付終了

サテライト会場 実施セッション＆開催地 一覧（2022年11月10日現在）

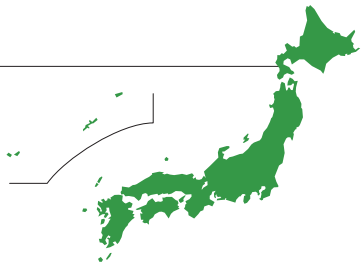
実施セッション

No.	日程	時間	研修種別	演題	演者	
専-8	4月21日(金)	14:30～15:30	専門研修	メンタル不調者対応の勘所	小森 陽子	株式会社 小森産業医事務所
専-9	4月21日(金)	16:00～17:00	専門研修	ストレスチェックを職場のメンタルヘルス対策の効果的なツールにする方法	征矢 敦至	株式会社プロソフィパートナーズ
専-10	4月21日(金)	17:30～18:30	専門研修	遠隔での産業医業務の課題～中小企業における産業医活動の実際～	絹川 千尋	産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学研究室
専-29	4月22日(土)	9:00～10:00	専門研修	職場の健診データの分析と活用	須賀 万智	東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座
専-30	4月22日(土)	10:30～11:30	専門研修	産業医と安全管理	大久保 靖司	東京大学 環境安全本部
専-31	4月22日(土)	13:30～14:30	専門研修	職場における化学物質の健康影響	北村 文彦	埼玉産業保健総合支援センター／BIPROGY株式会社
更-8	4月22日(土)	15:00～16:00	更新研修	産業医の職務に関連する最近の改正情報	古屋 佑子	東海大学医学部 基盤診療学系 衛生学公衆衛生学
更-9	4月22日(土)	16:30～17:30	更新研修	高年齢労働者への産業医の対応	竹田 透	労働衛生コンサルタント事務所オークス
更-10	4月22日(土)	18:00～19:00	更新研修	高齢就労における健康管理	西本 真証	センクサス産業医事務所
更-13	4月23日(日)	9:00～10:00	更新研修	働き方から考える健康診断事後措置対応	菅野 良介	産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学
更-14	4月23日(日)	10:30～11:30	更新研修	医師の働き方改革と医師の労働時間短縮の取組に関するガイドライン	小島原 典子	静岡社会健康医学大学院大学 疫学領域
更-15	4月23日(日)	12:00～13:00	更新研修	産業医に求められる能力とは	浜口 伝博	産業医科大学

※会場により、実施セッションは異なります。詳細はWEBサイトに掲載している会場リストでご確認ください。

開催都道府県

北海道・東北エリア ： 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東甲信エリア ： 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都
北陸東海エリア ： 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿エリア ： 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県
中国四国エリア ： 島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県
九州沖縄エリア ： 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



開会記念 特別講演会　2023年4月20日（木）開催

開催概要

日　時：2023年4月20日（木）15:00〜17:45
テーマ：デジタル革命と未来の医療
会　場：東京国際フォーラム　ホール A

事前参加登録者限定 優先予約
3/1受付開始 先着1,500名
※申込は事前予約となります。
※定員に達し次第、お申込を締め切らせていただきます。

ウェルカムミュージック

杉本 直登（ピアニスト）

洗足学園音楽大学音楽学部ピアノコースを首席で卒業。日本演奏家コンクール第1位ならびにグランプリ。KOBE国際音楽コンクール最優秀賞ならびに神戸市長賞、ベーテン音楽コンクール第1位ならびにグランプリ。さくらびあ新人コンクール、第1位。ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナリスト。東京交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団等とピアノ協奏曲を協演。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン等に出演。東京国際芸術協会、ピティナ、ショパン国際ピアノコンクールインアジアより優秀指導者賞を授与される。

高橋　泉（チェリスト）

桐朋学園大学アンサンブルディプロマコース修了。在学中ヴァイオリニスト故江藤俊哉氏はじめ教師陣とブラームス六重奏を共演。フランス国立ボルドー地方音楽院、パリ市立ポール デュカ音楽院にて研鑽を積む。ヴァチカン国際音楽祭、チョンミュンフン指揮東京フィルハーモニー管弦楽団アジアツアー等長きに渡り在京オーケストラに携わる、ジャズピアニスト小曽根真全国ツアー、ディズニーオンクラシック全国ツアー、スーパーチェロアンサンブル東京、スロベニア大使公邸コンサート。日本クラシック音楽コンクール最高位。コンセールヴィヴァンコンクール第1位及び優秀賞。全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員。

第一部（特別講演会）

基調講演「デジタル化・AI 化で思いやりに満ちた医療を！」

演者：中村　祐輔（医薬基盤・健康・栄養研究所　理事長）
座長：春日　雅人（第 31 回日本医学会総会　会頭 ／朝日生命成人病研究所　所長）

パネルディスカッション「デジタル革命と未来の医療」

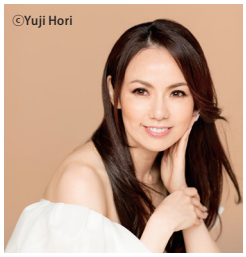
＜モデレーター＞
門脇　孝（第 31 回日本医学会総会　準備委員長）
宮田　真理子（東京女子医科大学 生理学講座・神経生理学分野）

＜パネリスト＞
天野　慎介（一般社団法人　全国がん患者団体連合会）
大江　和彦（東京大学大学院医学系研究科　社会医学専攻医療情報学分野）
中村　祐輔（医薬基盤・健康・栄養研究所　理事長）
永山　悦子（毎日新聞社　くらし医療部医療プレミア編集長　兼　論説室）
宮田　裕章（慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学）
武藤　香織（東京大学大学院　情報学環・学際情報学府）

第二部（オペラコンサート）

佐野 成宏（テノール）

東京藝術大学声楽科卒業後、アリゴ・ボイト音楽院（伊）に留学。'92年の関西日伊コンコルソ第1位・ミラノ大賞受賞をはじめ、F・ビニャス国際声楽コンクール3位等多くの国際コンクールで入賞する。'96年テアトロ・レージョ（パルマ・イタリア）でヴェルディ『レクイエム』のテノールソロとしてデビュー。以降スイス、オーストリア、ドイツ、スペインなどヨーロッパ各地、南米等で数多くのコンサート、オペラに出演する。'01年にはローマ歌劇場でのプッチーニ作曲オペラ『つばめ』（ルニエ役）に、芸術監督である指揮者ジェルメッティ氏の強い希望で出演し高評価を受ける。主演したオペラは、ヴェルディ作曲『椿姫』『ドン・カルロ』『リゴレット』他プッチーニ作曲『ラ・ボエーム』『トスカ』ドニゼッティ作曲『ランメルモールのルチア』ビゼー作曲『カルメン』等があり、いずれも卓越した歌唱と存在感は圧倒的であると同時に、小澤征爾指揮ベルリオーズ『ファウストの劫罰』ファウスト役などで高い音楽性も評価されている。'09年4月に開催された「天皇皇后両陛下ご成婚50周年ご即位20周年記念祝賀コンサート」に出演。同年6月から出演した佐渡裕指揮。兵庫県立芸術文化センターでの「カルメン」（全7公演）では存在感ある演技と音楽表現で今までにない評価を受ける。14年9月にはヴェルディ作曲「DON CARLOS」フランス語5幕版日本初演にタイトルロール・ドンカルロス役で出演、円熟した歌唱で観客を魅了した。2015年12月には佐渡裕指揮サントリー1万人の第九/兵庫芸術文化センター管弦楽団10周年記念ツアー–10公演にテノールソロとして出演。テノーレ・リリコとして光り輝く声を持ち、オペラの舞台には欠かせない存在感のあるプリモとして活躍するテノール歌手である。駒ヶ根高原音楽祭（長野県・駒ヶ根市）主宰。現在東京音楽大学客員教授。



森　麻季（ソプラノ）

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学し、P.ドミンゴ世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞を果たす。ワシントン・ナショナル・オペラ《後宮からの逃走》でアメリカ・デビュー。その後、ルイージ指揮ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、エディンバラ音楽祭《リナルド》、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を得る。2015年兵庫県立芸術文化センターオペラ《椿姫》、2017年BCJ歌劇《ポッペアの戴冠》でタイトルロールを好演。2020年鈴木優人指揮BCJオペラ《リナルド》のアルミレーナは各紙で絶賛された。2022年、《椿姫》Bunkamuraシアター・オペラ・コンチェルタンテでヴィオレッタを熱演し喝采を浴びる。コンサートではアシュケナージ、テミルカーノフ、インバル、小澤征爾、パーヴォ・ヤルヴィ等の著名指揮者やＮＨＫ交響楽団、フランクフルト放響等の内外の主要オーケストラ、ドレスデン聖十字架合唱団と共演し成功を収める。　透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマや2016年文部科学省主催WFSC公式イベントに出演すると、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。デビュー20周年記念アルバム「至福の時〜歌の翼に」をリリース（エイベックス・クラシックス）。２０２２年より国立音楽大学客員教授。安宅賞、ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。

山岸 茂人（ ピアノ）

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院（音楽学専攻）修了。在学中に安宅賞受賞。音楽学を船山隆、本田脩の両氏に、ピアノを高出紘子、川口恒子、渡辺健二の諸氏に師事。ドイツ歌曲を佐々木成子、ライナー・ホフマンの各氏に、古典から近代にわたるイタリア歌曲を嶺貞子氏に学ぶ。声楽の伴奏者として多くの著名な歌手と共演しており、森麻季氏との共演は日本全国で数百回、カーネギー・ホールやジョン・F. ケネディセンターにおけるリサイタルでもピアノを担当。CDでは「あなたがそばにいたら」「四つの最後の歌（R. シュトラウス　リスト歌曲集）」「花は咲く（日本歌曲集）」（ソプラノ：森麻季）、「この愛を〜イタリアを歌う」（バリトン：キュウ・ウォン・ハン）、「ベッリーニ歌曲集」（監修：嶺貞子）等で伴奏を務める。これまでに東京芸術大学声楽科伴奏助手、上田女子短期大学、聖徳大学兼任講師を歴任、現在、二期会イタリア歌曲研究会ピアニスト。

閉会

日本医学会総会の開幕にあたっての挨拶と特別メッセージ（健康社会への宣言2023）　**春日 雅人**（第31回日本医学会総会 会頭／朝日生命成人病研究所 所長）